

「科学コミュニケーションに関するアンケート」へのご協力をお願い

NPO 法人市民科学研究室（市民研）では毎月 1 回、どなたでも参加できる公開の集会（市民科学講座）を開催しています。きたる 9 月 17 日（木）、「科学コミュニケーションに何が求められているかー科学への共感と批判のはざまで」と題する講座を東京都文京区のアカデミー茗台・学習室（文京区春日 2-9-5）にて午後 6 時半よりおこないます。『ナノ・ハイブ狂騒』（みすず書房）の監訳でも知られ、市民研の月刊誌『市民科学』に連載（http://www.csij.org/01/new_backnumber.html）をされている五島綾子さんをお招きし、科学技術と社会との関わりや、そこにおける科学コミュニケーターの役割について参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。今回の講座は、市民研代表の上田昌文、市民研理事であり東京大学公共政策大学院の特任講師でもある吉澤剛、ならびに同大学院の特任研究員である古屋絢子の 3 名が企画立案しました。科学コミュニケーターと呼ばれる方々はどのような意識を持ってどのような活動をおこない、どんな日常的な課題を抱えているのか。これからのコミュニケーターのキャリアパスや、社会とのつながりのあり方はどうあるべきか。こうした問題意識のもとに今回の企画を立案しました。

9 月の市民科学講座に先立って科学コミュニケーションのあり方を考えるため、科学コミュニケーションに関わっていると思われる皆さんに以下のアンケートを実施しております。皆様におかれましては、本メールへの返信という形で 9 月 6 日（土）までにアンケートへのご回答を頂きたくよろしくお願い申し上げます。回答は集計し、その結果を踏まえて五島さんや、科学コミュニケーターの方々、企画メンバー、聴講者を交えたディスカッションをおこないたいと思います。本講座にご関心があり、パネリストとして参加したいという方も歓迎しておりますので、ご連絡お待ちしております。なお、頂いた回答はすべて匿名処理いたしますので、個人情報が出ることはありません。回答をお寄せ頂いた方には、後日、集計結果とその分析、集会の記録などをまとめたものをお送りいたします。

- ・ 回答期限は 2009 年 9 月 5 日（土）です。
- ・ 回答は、このワードファイルに直接ご記入いただき、メールで以下のアドレスに添付ファイルにてご返送ください。【ワードファイルは市民科学研究室ホームページに掲載しています。】

返信先： renraku@csij.org

- ・ 回答に先立って、よろしければお名前とご所属をご記入下さい。

回答者：お名前 _____

ご所属 _____

では、ご協力どうかよろしくお願い致します。

***** (ここからアンケート) *****

A) あなたに最もあてはまると思われるものに○をつけてください。(過去の活動を含む)

- 科学コミュニケーターである／であった
- 科学コミュニケーターではないが、
科学コミュニケーションに関わる活動をしている／していた
- どちらでもない

B) あなたの現在の所属としてあてはまるものを選んでください。(複数回答可)

- 1 行政
- 2 企業・産業界
- 3 学協会・研究機関・大学
- 4 博物館・科学館
- 5 メディア・報道機関
- 6 小学校・中学校・高等学校
- 7 NPO
- 8 1～7以外の所属 ()
- 9 1～7のような組織には所属していない(いわゆる“一般市民”)

C) 上の分類で言うと、あなたはこれまでに誰と誰をつなぐ活動をしてきましたか。「1 と 6」というように、番号でお答えください。特につなぐ活動をしていなければ空欄で結構です。(複数回答可)

- と
- と
- と
- と

D) あなたの活動は主にどの分野・領域に関わるものですか。あてはまるものがあれば () に○を入れてください。(複数回答可)(この分類は市民科学研究室による「生活者と科学技術との関わり」の類型化の調査に基づいています。)

- 水・大気
- エネルギー
- 食・農林水産
- 住まい
- 衣服
- 廃棄物
- 材料・化学物質
- 健康・医療

G) 最近、自分の関わった科学コミュニケーション（的な）活動について、その具体的な成果を含めて1～3つ教えてください。

()
()
()

H) 上記の活動において、あなたが感じている問題点や行き詰まり、悩んでいる点などがありましたら、教えてください。また、その改善や解決のためにどんなことがなされ、どういう支援が必要か、何かお考えがあればお聞かせください。

•

D) 自分の活動を支える原動力はなんでしょうか。やっていて良かったと思うのはどのような時でしょうか。

•

J) これまでの活動で役に立ち、ぜひ他の人にも勧めたいもの（助成、イベント、情報、人的ネットワークなど）があれば教えてください。

•

***** (ここまでアンケート) *****

ご協力どうもありがとうございました。9月17日（木）の市民科学講座を聴きに行きたい、あるいはパネリストとして議論に参加したいという方も歓迎しておりますので、ご関心があればその旨ご一報頂きたくお願いいたします。

•

2009年8月18日

上田 昌文（NPO 法人市民科学研究室）
古屋(平松) 絢子（東京大学公共政策大学院）
吉澤 剛（NPO 法人市民科学研究室、東京大学公共政策大学院）